第84期 株式会社中村屋

事業報告書

平成16年4月1日 ▶ 平成17年3月31日





日次	
株主の皆様へ	1
事業別状況	3
連結財務諸表	5
個別財務諸表	7
Topics	В
会社情報	9
株式情報10	0

証券コード 2204



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。 ここに中村屋グループ第84期(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)における事業の概況をご報告申しあげます。

営業の経過および成果

当期におけるわが国経済は、企業業績の改善による設備投資の拡大や輸出の増加に支えられた堅調な景気回復の動きがありましたが、デフレ傾向が継続する中での記録的な猛暑、度重なる台風による悪天候の影響などもあり個人消費の回復ペースが鈍化するなど依然厳しい状況が続いております。

菓子食品業界におきましては、食の安全や健康を重視し、 品質を厳しく見極め価値ある商品を選択購入するというお客様の消費行動が定着し、各企業は食の供給者としての社会的な責任を強く求められるとともに、企業間競争は更に厳しさを増しております。

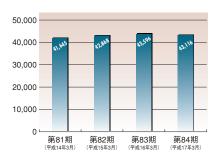
このような状況のもと、当中村屋グループは、最終年度をむかえた「中期経営計画・プラン21」に基づき、各事業分野において選択と集中を基本とした事業構造の改革を進めるとともに、マーケティング競争力強化のローコスト構造改革に取り組み、収益力の向上を図りました。更に経営課題である新技術・新製品開発、品質保証(おいしさと安心、安全)の徹底、環境保全活動の推進(食品廃棄物の低減)等に対し

てもお客様第一の基本に立った諸施策を実行し、変化や競争 に強い企業グループへの転換を目指してまいりました。

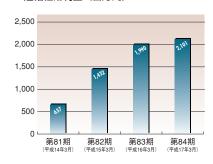
以上のような経過の中で、当期の売上高は、中核事業である菓子事業が増収したものの、企業間競争が厳しい食品事業や市場環境が厳しい飲食事業の不振を受け、全体としては43,116百万円、前期比480百万円、1.1%の微減収となりました。

利益面におきましては、売上高の減少に伴い粗利益が減少したものの、諸経費の節減、物流・営業拠点の再編などによるローコスト構造改革の推進や積極的な有利子負債の削減に努めるなど、経営方針に沿った諸施策を着実に実施したことにより、連結経常利益は2,101百万円、前期比111百万円、5.6%の増益となりました。また、当期は、固定資産を除却処分したことなどにより特別損失として106百万円を計上いたしました。以上の結果、当期連結純利益は1,185百万円、前期比297百万円、33.5%の増益となりました。

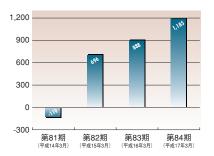
連結売上高(百万円)



連結経常利益(百万円)



連結当期純利益(百万円)



会社が対処すべき課題

中村屋グループでは、『新たな価値を創造し、健康で豊かな 生活の実現に貢献する』という経営理念のもと、菓子・食品 の得意分野でナンバーワンを目指し、広くお客様の信頼と満 足を得られる企業に成長していくことを中期ビジョンにおけ る事業の姿として定めております。本年度は新中期経営計画 『ステップ アップ プラン21』(平成17年度~平成19年度) を策定し、コーポレートガバナンス、コンプライアンスの重 視、品質保証の徹底と実行を経営の基本とし、企業の社会的 な責任を重視した経営を進めてまいります。また、新中期経 営方針として定めた『選択・集中・創造』を基本として、事 業の自立とグループ経営の強化を図り、環境の変化や競争に 強い会社の実現を目指してまいります。

平成17年度は経営方針として「選択と集中、そして創造に よる事業の自立」「品質保証(おいしさと安心、安全)の徹底 と実行し「ローコスト構造改革の実行し「商品開発力の強化し 「人材育成と活用の実行」の諸施策を掲げ、創造と自立をキー ワードとして、これらを遂行していくにあたりましては、前 年に引き続き「スピード|「チャレンジ|「コミットメント|

「コミュニケーション」を行動 指針といたします。そしてすべ ての従業員一人ひとりが常にお 客様第一を基本に自立と革新を 図り、グループ一丸となって変 化や競争に強い企業風土を築き 上げる取り組みを行ってまいり ます。以上のとおり定めた諸施 策を具現化し業績の向上に努め ていく所存であります。

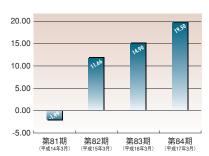
株主の皆様におかれまして



代表取締役社長 長沼

も、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようよろしく お願い申しあげます。

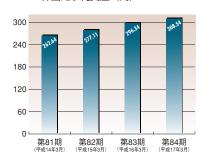
一株当たり当期純利益(円)



総資産/純資産(百万円)



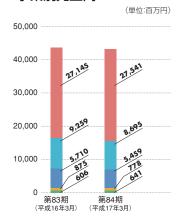
一株当たり純資産(円)





事業別状況

事業別売上高



事業区分(当期売上高構成比) 主要な商品・事業内容

菓 子 事 業 63.8% 中華まんじゅう、和焼菓子、米菓、パックデザート(水羊かん、プリン、ゼリー)、パン類、その他和菓子、その他洋菓子

食 品 事 業 20.2% 業務用食材(カリー、パスタソース)、市販食品(レトルトカリー)

飲 食 事 業 12.7% フランス料理店、中国料理店、南欧風料理店、インドカリー料理店、インストアベーカリー

不動産賃貸事業 1.8% オフィスビル賃貸

そ の 他 事 業 **1.5**% スポーツクラブの営業、保険代理業

菓子事業

中核事業である菓子事業におきましては、新商品の開発と品質改良を積極的に実施し商品力の強化を図りました。

和菓子贈答類につきましては、本年も独創性豊かな新商品の開発を行いました。2種類の異なる風味のあんを皮で包んだ三層の焼き菓子「ふくみか」、洋風カステラの生地に白あんとチョコレートをミックスし独特な食感に仕上げた和洋折衷の焼き菓子「うきみもよう」、季節感を訴求した「うすあわせ甘夏、あんず、梅」を新発売し幅広いお客様にご利用いただきました。

和生菓子類では、季節感、鮮度感を演出した売り場作りを目指し、四季折々の行事に合わせ季節の花や果実をデザイン



ふくみか

した新商品や健康志向に そった商品などを新発売 しました。

米菓進物類につきましては、中村屋伝統のカリーと揚げあられを組み合わせた「カリーあられ」、体に良いと言われる発芽

玄米の香ばしさと歯ごたえを楽しめる一口サイズのあられ「香味あられ」を新発売し好評をいただきました。主力商品である「こがねはずみ」「江戸ばやし」については品質改良を行い商品の魅力度を向上させました。

パックデザート類では、最近のお客様の志向に合わせ "和風の強化"をキーワードとしてデザート類の開発、改良に注力しました。流行素材であるマンゴー、黒胡麻を使った商品を開発し、和風ギフト「一涼菓」として新発売しました。また、ご好評をいただいている和風ギフト「涼菓撰」「和水菓」についても、更に競争力のあるギフト商品となるようデザイン変更、詰め合わせ変更を行いました。

FF(ファーストフード) 商品につきましては、揚 物商品「かりかりまん」 や焼物商品「アチアチバ ンズ」においても新商品、 改良商品を発売し、コン ビニエンス販路向け商品 の強化を図りました。



うきみもよう

伝統的な商品としてご評価をいただいている中華まんじゅう類につきましては、不断の改良に取り組んでおります。本年も主力商品「肉まん」「あんまん」など11品目の具と皮の改良を実施し、更なる品質向上を図りました。

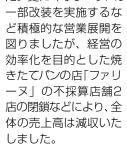
直売店販路向け商品では、「黒豚肉まん」などを販売期間限 定商品として発売し、独創的な中村屋の味としてお客様にご 提案し、売り場の活性化にも寄与いたしました。

店舗展開につきましては、駅地下立地の「新宿地下鉄ビル 売店」「名古屋テルミナ売店」でお客様の二一ズにあわせて店 舗改装を実施し、好調に推移しております。

飲食事業

当期も外食市場全体の縮小傾向に歯止めがかからず、既存の店舗が苦戦する中で、当社各店では季節ごとのメニュー改定やイベントによる新・改良メニューの積極的な導入を進めるとともに、新規店舗の出店、既存店舗の改装を実施し売上高確保に努めました。「本店」では、より多くのお客様にご満足いただけるように二階レストランの全面改装を実施し、

客席の居住性、雰囲気の向上を図りました。直営レストラン部門では、インドカリーのメニューを強化させた新基軸の「オリーブハウス」を横浜ランドマークプラザ内に出店するとともに、順調に展開している「新宿中村屋インドカリーの店」を恵比寿駅ビル内に開店いたしました。更に「オリーブハウス八干子店」の







新宿中村屋インドカリーの店 アトレ恵比寿店

食品事業

業務用食品事業は、新たに成長性が見込める喫茶などの外食業態への展開強化を図り売上確保に努めましたが、外食産業の不振の影響を受け、主力のお取引先様であるファミリーレストラン業態への納品が苦戦し、減収となりました。一方、市販食品事業は、家庭用のレトルト食品であるインドカリー類やレストランパスタソース類の新商品3品目の発売に加え、主力のインドカリーシリーズのパッケージ改良を行うなど商品力強化に注力いたしました。また、秋冬向け商品としてシチュー類を提案するなど積極的な営業展開を行った結果、首都圏での取扱い店舗数を順調に増加させることができました。







不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、笹塚NAビルが竣工以来、オフィスビルとして入室率100%で推移しておりましたが、不動産を取り巻く環境が厳しさを増す中で賃料の引き下げや一部フロアーの空室が発生し、売上高が減収となりました。



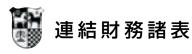
笹塚NAビル

その他の事業

スポーツ事業におきましては、笹塚NAビル内でフランチャイズ契約に基づいて展開しております会員制のスポーツク

ラブ「エグザス笹塚」はお客様のニーズに あわせ新規メニューを加えながらサービス の向上に努めた結果、会員数は年々増加し 順調に業績を拡大しております。





連結貸借対照表

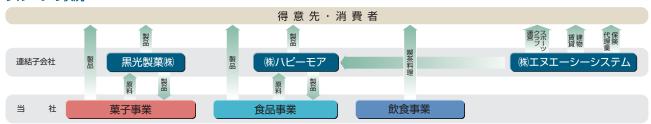
(単位:百万円)

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
資産の部	(130 - 1 - 13 - 1	(190 () 197 () 197 ()
流動資産	13,000	15,392
現金及び預金	1,399	2,339
受取手形·売掛金	4,218	4,126
有価証券	2,198	1,858
たな卸資産	1,552	1,439
繰延税金資産	749	496
その他流動資産	2,937	5,171
貸倒引当金	△ 55	△ 39
固定資産	27,584	29,858
有形固定資産	20,002	20,832
建物及び構築物	15,321	16,029
機械装置及び運搬具	1,729	1,874
土地	2,541	2,541
その他の有形固定資産	325	387
建設仮勘定	85	_
無形固定資産	54	63
投資その他の資産	7,527	8,962
投資有価証券	5,134	5,392
長期繰延税金資産	1,202	2,268
その他の資産	1,514	1,623
貸倒引当金	△ 324	△ 322
資産合計	40,585	45,251

	N/#F	(羊位:日/川川
科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	9,663	11,861
買掛金	1,524	1,558
短期借入金	5,599	6,648
未払法人税等	78	1,081
賞与引当金	934	893
その他の流動負債	1,526	1,678
固定負債	12,525	15,723
 社債	2,000	2,000
長期借入金	2,678	2,888
退職給付引当金	6,556	9,568
その他の固定負債	1,290	1,265
負債合計	22,188	27,584
資本の部		
資本金	7,469	7,469
資本剰余金	7,348	7,348
利益剰余金	2,874	2,195
その他有価証券評価差額金	764	689
自己株式	△ 59	△ 36
資本合計	18,397	17,666
負債及び資本合計	40,585	45,251
(2)		

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

グループの状況



連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
売上高	43,116	43,596
売上原価	24,446	24,624
売上総利益	18,669	18,972
販売費及び一般管理費	16,596	16,983
営業利益	2,072	1,988
営業外収益	192	198
受取利息及び配当金	87	98
雑収入	104	100
営業外費用	162	197
支払利息及び社債利息	114	163
雑損失	47	33
経常利益	2,101	1,990
特別利益	12	12
特別損失	106	259
税金等調整前当期純利益	2,007	1,743
法人税、住民税及び事業税	58	1,097
法人税等調整額	763	△ 242
当期純利益	1,185	888

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

ACCORDING ACCOUNT	•	(単位・日カロ)
科目	当期 (平成16年4月1日か6平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	7,348	7,348
資本剰余金期末残高	7,348	7,348
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	2,195	1,814
利益剰余金増加高	1,185	888
当期純利益	1,185	888
利益剰余金減少高	506	506
配当金	506	506
利益剰余金期末残高	2,874	2,195

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位:百万円)

科目	当期 (平成16年4月1日か6平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,170	2,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,019	△ 4,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,789	△ 345
現金及び現金同等物の増減額	△ 940	△ 1,533
現金及び現金同等物の期首残高	2,640	4,173
現金及び現金同等物の期末残高	1,700	2,640

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社

会社名	資本金(千円)	当社の議決権比率(%)	主な事業内容
黒光製菓株式会社	26,400	100.00	和菓子類の製造
株式会社ハピーモア	60,000	100.00	食材類の製造販売
株式会社エヌエーシーシステム	90,000	100.00	不動産の賃貸・スポーツ施設の経営および保険代理業



個別財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	(+12.17)11)		
科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)	
資産の部			
流動資産	12,428	14,934	
固定資産	21,041	22,695	
有形固定資産	7,953	8,118	
無形固定資産	53	60	
投資その他の資産	13,035	14,516	
資産合計	33,470	37,629	
負債の部			
流動負債	3,902	5,676	
固定負債	8,742	11,728	
負債合計	12,644	17,405	
資本の部			
資本金	7,469	7,469	
資本剰余金	7,348	7,348	
利益剰余金	5,304	4,751	
その他有価証券評価差額金	763	691	
自己株式	△ 59	△ 36	
資本合計	20,825	20,223	
負債及び資本合計	33,470	37,629	

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
売上高	41,081	41,441
	22,929	23,013
売上総利益	18,152	18,427
販売費及び一般管理費	16,392	16,805
営業利益	1,760	1,622
営業外収益	257	275
営業外費用	64	89
経常利益	1,953	1,809
特別利益	12	10
特別損失	103	166
税引前当期純利益	1,863	1,653
法人税、住民税及び事業税	45	1,081
法人税等調整額	757	△ 264
当期純利益	1,059	836
前期繰越利益	220	231
当期未処分利益	1,279	1,068

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位:百万円)

		(キロ・ロババン)
科目	当期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
当期未処分利益	1,279	1,068
任意積立金取崩額		
退職給与積立金取崩額	_	21
固定資産圧縮積立金取崩額	6	6
合計	1,286	1,096
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	565 1株につき 9 円50銭 (普通配当 8 円50銭) 特別配当 1 円00銭)	506 1株につき8円50銭
取締役賞与金	24	_
任意積立金		
別途積立金	446	370
次期繰越利益	250	220

⁽注) 1. 固定資産圧縮積立金取崩額は租税特別措置法の規定に基づくものであります。

^{2.} 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

創造する菓子試作開発室

クリームパン、中華まん、月餅、インドカリー、いずれ の商品も中村屋の創業者、相馬夫妻の独創性のもとに生ま れました。

この創造の精神を受け継ぎ、価値ある商品をスピードを あげて創り出すため、東京事業所内に「菓子試作開発室」 を設けました。

この施設は菓子の新製品開発のための試作品を創りだすことを目的に、包餡機や低温調整室、凍結試験機など最新の機器を備えています。餡を自動的に生地で包む包餡機は、素材のダメージが少なくなるような新しいタイプのものを導入。商品の様々な形や材料に対応でき、見た目や味、食感などの従来の包餡と差別化した商品開発を行います。また、温度を管理した低温調整室や凍結試験機を活用して、新たな可能性を求めて独創的な商品開発が行われています。この施設は講習会や情報交換等にも利用することができ、菓子技術者の教育の場としても有効に活用していく予定です。

中村屋はこの試作室を中心に、お客様のニーズ、ウォン



ツにあった菓子を 創造してまいりま す-

中越地震被災地に救援物資をお届け

平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震では多くの方々が罹災されました。被害にあわれた皆様には改めてお見舞い申しあげます。

中村屋は微力ながら26日夜、救援物資としてレトルト食品48,000食分を、小千谷市および長岡市にお送りいたしました。

中村屋は創業以来「己の生業を通じて文化、社会に貢献する」との精神のもと、企業活動を行ってまいりました。良き企業市民であることの義務と責任を自覚し、社会にとって存在価値のある企業を目指しております。中越地震に際しましては、この精神を体現すべく、また「当社のレトルト食品で少しでも被災地の皆様の心身を癒すことができれば」との想いを込め、お送りいたしました。

また、平成17年2月20日には、本店のシェフが 直接現地に赴き、できたて熱々のインドカリーを北 魚沼郡川口町の皆様にご提供しました。

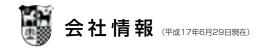
中村屋はこれからも、良き企業市民として社会的責任をまっとうしてまいります。

本店でインドカリーフェア開催

インドカリー発売77周年を記念して平成16年7月1日から2ヵ月間、本店全館で『インドカリーフェア』が開催されました。インドの高級米「バスマティライス」を使ったカリーライス、インド産マンゴーを使用したデザートなど、全館にインドの香が溢れる企画で実施されました。「バスマティライス」のバスマティは、ヒンディー語で「薫り高い貴婦人」を意味し、その名の通り大変よい香を持ったお米です。もちろんカリーソースとの相性もよく、お客様には大好評でした。この他にも、1階のデリカで「カリーコロッケ」、4階ラコンテでは「インド料理セット」など盛りだくさんの「インド料理」をご用意しました。



中村屋本店では引き続き平成17年度も「カリー」をメインにしたオリジナリティー溢れる企画を実施する予定です。 「バスマティライス」も再度登場しますのでどうぞご期待ください。



概要

創業明治34年12月30日

設 立 大正12年4月1日

資本金 74億6,940万円

発行済株式総数 5,976万株

営業内容 各種和洋菓子・パン・その他

食料品の製造、販売ならびに

飲食店の営業

従業員 990名

(上記の他臨時従業員が期中平均1,105名おります。)

役 員

代表取締役社長 沼 誠 男 取締役兼専務執行役員 神 田 隆 小山田 信義 取締役兼専務執行役員 取締役兼常務執行役員 西 村 政 晃 取締役兼執行役員 橋 明 弘 高 取締役兼執行役員 染 谷 省 取締役兼執行役員 Ш 飯 伸 取締役兼執行役員 小 林 恒 政 志 取締役兼執行役員 小 林 常勤監査役 \blacksquare 嶋 和彦 常勤監査役 座光寺 威 秋 彦 杳 役 原 常務執行役員 横山 降 行 役 員 渡 辺 幸 雄 執 役 行 方 干 博 執 員 行 役 員 杉山 執 敏 行 二本松 役 執 行 員

- (注) 1. 第84回定時株主総会終了後に開催された取締役会において、執 行役員制度が導入され、執行役員がそれぞれ就任いたしました。
 - 2. 監査役原秋彦氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に 関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

主な事業所

エの事未川	
名称	所在地·TEL
本社	〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目26番13号 TEL(03)3352-6161(大代表)
東京事業所	〒151-0073 東京都渋谷区笹塚一丁目50番9号 TEL(03)5454-7111(総務・人事部) TEL(03)3481-1163(菓子事業部)
研究開発室	〒243-0401 神奈川県海老名市東柏ヶ谷四丁目4番1号 TEL(046)234-3170(代表)
神奈川工場	〒243-0401 神奈川県海老名市東柏ヶ谷四丁目4番1号 TEL(046)231-4511(代表)
食品工場	〒243-0401 神奈川県海老名市東柏ヶ谷四丁目4番1号 TEL(046)233-5161(代表)
埼玉工場	〒346-0101 埼玉県南埼玉郡菖蒲町昭和沼17番地 TEL(0480)85-5911(代表)
つくば工場	〒300-1281 茨城県牛久市桂町2200番46号 TEL(0298)75-0911(代表)
中央営業所	〒151-0073 東京都渋谷区笹塚一丁目50番9号 TEL(03)3481-1153(東京営業・NC部)
東営業所	〒278-0022 千葉県野田市山崎1839-1 TEL(04)7126-5101(代表)
南営業所	〒243-0401 神奈川県海老名市東柏ヶ谷四丁目4番1号 TEL(046)231-4513(代表)
北営業所	〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉2550番地 TEL(048)539-4133(代表)
札幌営業所	〒001-0011 北海道札幌市北区北11条西一丁目5番地 TEL(011)747-5561(代表)
名古屋営業所	〒453-0036 愛知県名古屋市中村区森田町一丁目4番26号 TEL(052)482-1564(代表)
大阪営業所	〒664-0845 兵庫県伊丹市東有岡一丁目89番地1 TEL(0727)80-0551(関西営業部)
福岡営業所	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南六丁目9番46号 TEL(092)441-1831(代表)

株式の状況

① 会社が発行する株式の総数

199.044.000株

② 発行済株式の総数

59,762,055株

(注)自己株式214,102株が含まれており、そのうち期末現在の実質的な所有株式数は 213,102株であります。

③ 株主数

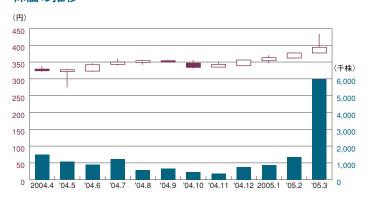
9.895名

(注)前期末に比し316名減少いたしました。

大株主 (上位10名)

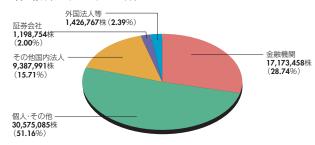
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
中村屋取引先持株会	4,466	7.64
株式会社 みずほ銀行	2,925	5.00
中村屋従業員持株会	1,566	2.68
株式会社 東京三菱銀行	1,327	2.27
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,162	1.99
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,131	1.93
朝日生命保険相互会社	1,035	1.77
株式会社 りそな銀行	1,000	1.71
みずほ信託銀行株式会社	957	1.64
三菱信託銀行株式会社	787	1.35

株価の推移

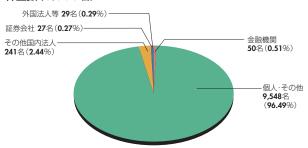


所有者別株式分布状況

株式数(59,762,055株)



株主数(9.895名)



株主優待

3月31日の最終株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された1,000株以上ご所有の株主様に対し株主優待品を、6月上旬にお届けいたしております。

本年度より「株主優待券」と「弊社商品」のうち、どちらか一つをご選択いただく方式に優待制度の変更を行いました。

「株主優待券」は割引率が15%、発行枚数が20枚にそれぞれ変更しております。また、お取扱い店舗は、43店に限らせていただきます。

「弊社商品」は、2,000円 相当の商品を弊社で決めさせ ていただきご選択時にご案内 いたします。



株主メモ

決 算 期 3月31日

配当金受領株主確定日 利益配当金 3月31日

定時株主総会6月

1 単元の株式数 1.000株

公 告 の 方 法 日本経済新聞に掲載します。ただし、商法特例法第16条第

3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、 http://www.nakamurava.co.ip/kessankoukoku.html

において提供します。

名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号

電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 0120-288-324 (代表)

取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 同

みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

株式会社中村屋

住 所: 東京都新宿区新宿三丁目26番13号

電 話: 03-3352-6161 (大代表)

e-mail: webmaster@nakamurava.co.ip URL: http://www.nakamuraya.co.jp

〈お問合せ先〉総務・人事部 電 話: 03-5454-7111

表紙の写真

〈上〉和水菓

すっきりした味わいの西瓜と甘夏のゼ リーや上品な甘味の栗ぜんざい、黒蜜 や白蜜でいただくみつまめなど、詰め 合わせの内容や形状などバラエティー 豊かで、透明容器を組み合わせて彩り も華やかな和風デザートのギフトセッ トです。



和水菓 3,150円 (税込み)

〈中〉自慢詰合わせ

明治34年(1901年)相馬愛蔵・黒 光夫妻が東京本郷に「中村屋」を創業。 以来一世紀を超えて独創性にあふれた 味わいを創り出してきました。 秘伝の「月餅」2種と伝統の「桃山」 中村屋ゆかりの彫刻家・荻原碌山にち なんだ「碌山」の詰め合わせです。



自慢詰合わせ 2,100円 (税込み)

〈下〉新宿中村屋インドカリーの店 アトレ恵比寿店 中村屋のカリーの伝統を生かしたイン ド風チキンカリーを中心に質の高いカ リーライスをフレンドリーなサービス で提供するカリーの専門店です。 アトレ恵比寿6Fレストラン街に7店目 の店舗として平成17年3月にオープン しました。